

学校の教育目標	児童の安全を第一に「知・徳・体」の調和のとれた、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の目標を掲げる。「6年生があこがれの存在である学校」考える子 やさしい子 たくましい子
特別活動の目標	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
目指す子供像	○ 自分の役割や責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができる子 ○ 互いのよさを認め合うことができ、自由な意見交換ができる子
特別活動の重点目標	一人一人の児童が互いのよさを認め、伸ばし合うことができるような集団活動を行い、より良い集団を育成しながら個々の児童に育てたい資質・能力を育めるようにする。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、重点目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、重点目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、重点目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、重点目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
指導の方針	○ 楽しく豊かな学級生活づくりのために、互いに尊重できる人間関係を育む。低学年では助け合い仲良くする人間関係、中学年では協力し合おうとする人間関係、高学年では互いに信頼し支え合おうとする人間関係の育成を重視する。 ○ 自己のよさや可能性を生かして充実した学級や学校の生活づくりに参加できるように自発的な態度を育成する。	異年齢集団活動を通して上学年が思いやり下学年があこがれをもち、仲良く協力し信頼し支え合おうとする人間関係を形成する。集団の一員として自分の役割を果たし、協力してよりよい学校生活づくりに積極的に取り組むことについて、児童自身が意識して努力したり、自らが主体的に取り組んだりするなどの自主的、実践的な態度を育成する。	クラブ活動においては、学年や学級の所属を離れ第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、共通の興味・関心を追求する活動を行い、多様な他者との人間的なふれあひの中で認め合うことができるようにする。	学校行事においては、学校または学年を単位として学校生活に秩序と変化を与え集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行う。
主な指導内容	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ア学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア基本的な生活習慣の形成 イよりよい人間関係の形成 ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成 エ食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 イ社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	学校的全児童をもって組織する児童会において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。 (1) 児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営 (2) 異年齢集団による交流 (3) 学校行事への協力	主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。 (1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表	(1) 儀式的行事: 学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。 (2) 文化的行事: 平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。 (3) 健康安全・体育的行事: 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。 (4) 遠足・集団宿泊的行事: 自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。 (5) 勤労生産・奉仕的行事: 勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。
各教科・読書科	○ 各教科等の指導で身に付けた事象を的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用する。特に、学級の会の仕方などの指導は、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 ○ 「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。	各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、委員会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かすことができるようにする。	各教科の学習を中心として行われる活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにするとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	○ 儀式的行事: 学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 ○ 文化的行事: 学習の成果を発表し交流し合うことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○ 健康安全・体育的行事: 体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得や運動に親しむ態度を育成する。 ○ 遠足・集団宿泊的行事: 学習を生かして、自然や文化等に親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳等についての望ましい体験を積む。 ○ 勤労生産・奉仕的行事: 生活や社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。
他の教育活動との関連	低学年では、自分の仕事をしっかりと行うことや友達と仲よく助け合うことを、中学年では、互いに理解し助け合うことやみんなで協力し合って楽しい学校をつくることを、高学年では、信頼し、学び合い、協力し助け合うことや集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して責任を果たすことを重視する。	下学年は、自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をする。中学年では、思いやりの心をもち、親切にすることや身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	「相手との関係を円滑にする」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	儀式的行事では、礼儀正しく真心をもって行動することや郷土や国を愛する心をもつことを、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつことを、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け、生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすることを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。
外国語活動	外国語活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。	外国語活動で学んだコミュニケーションの場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げることを、5、6年生は進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくなることや相手の立場に立って親切にすることを重視する。	外国語活動で身に付けた国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重し、協調しながら交流しようとする態度を諸活動に生かす。
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた自分とのかかわりに基づき課題発見力や主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。	問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	総合的な学習の時間での問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的行事との関連、社会との関わりを考える学習活動としての体験活動と勤労の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。
家庭や地域との連携備考	充実した学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を展開するために、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成や心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点から踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭と連携を図り指導をする。	児童会活動における充実した学校生活づくりの活動を展開するために、家庭や地域の協力を得られるようにする。また、学校行事に協力する代表委員会活動として、運動会を行う際に席を用意して地域の高齢者を招待することなどを通して、地域の福祉に携わる活動や仕事をしている人々の協力を得ることを行う。	児童の興味・関心を基本としながら、地域の伝統芸能や文化と関連付けたり、外部講師や地域の教育力を活用したりするなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の方が参観しやすいように、期日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施したりして、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼び掛けたりする。